

2017年
CTO
20

建設労働本部夏季闘争速報

No. 3 / 2017年6月14日

〒060-0909 札幌市東区北9条
東1丁目北海道労働センター2F
TEL. 011(711)7377
FAX. 011(711)7388
e-mail/kenkoro-do@nifty.com

道本部労災職業病部会

4～5月の新規認定14件 新たに21人が建交労に加入

道本部労災職業病部会は4～5月の労災新規認定と組合員拡大のとりくみをまとめました。新規認定は14件（振動障害・7件／じん肺・2件／騒音性難聴・4件／じん肺遺族補償・1件）でした。1～5月の合計では59件（振動障害・22件／じん肺・12件／騒音性難聴・18件／じん肺遺族補償・7件）になりました。各地の「健康相談会」などのとりくみを通じて労災申請などの要求で4～5月に新たに建交労に加入した組合員は21人（1～5月の合計61人）です。なお、今年1～5月の「健康相談会（職業病相談会）」は道内11地域40会場でおこなわれ、相談者（電話などでの相談をふくむ）は123人でした。

十勝建設支部で80人の組織拡大

十勝建設支部は1月から5月までに建設現場労働者80人を組合に迎えました。いま建設現場では、4月から公共事業で「社会保険未加入者の排除」がおこなわれ、加入義務のない4人以下の労働者をかかえる個人事業主や一人親方にまで「社会保険に加入しなければ現場に入れさせない」と不当な攻撃がかけられています。支部では、こうした零細事業主や一人親方の声を聞きながら、共済制度の活用と社会保険対策の相談活動、公共工事設計労務単価にもとづく賃金支払いの宣伝などをすすめて仲間を増やしています。

宮城で全国ダンプ交流集会

6月11～12日、宮城県秋保温泉で「第8回全国ダンプ交流集会」が開かれ全国21組織から160人あまりが参加しました。4年ぶりに開かれた集会では、「使用促進」のとりくみを前進させ、組織の拡大をはかることが確認されました。2日目には東日本大震災の被災地を実際に見るツアーも組まれました。集会には札幌ダンプ支部から木村副委員長、鳥潟さん、檜山さんの3人が参加しました。

札幌学童保育支部に夏季一時金の回答

札幌学童保育支部は夏季一時金について札幌市と働さっぽろ青少年女性活動協会からの回答を受けました。札幌市の第2種非常勤職員・臨時職員は「ゼロ」回答でした。協会雇用の学童保育指導員については、フルタイム指導員が1.8か月分、パートタイム指導員は1.5か月分、専門指導員は1.5か月分、今年度から新設された再任用フルタイム指導員は0.8か月分、新設の職場限定職員とサポートスタッフ・臨時職員は0.2か月分（新設の職種以外は前年と同率）です。

各支部・分会の春闘と夏季一時金闘争の回答および妥結状況を報告してください